

美園人

be a **GOOD** neighbor !

October
2018
vol.

07

みそのびと

もっと知りたい
美園の「これまで」と「これから」。

取材特集

美園の小学校
全校ご紹介！

2018年7月29日開催「恋から描く美園のまち」にて、
まその景色や未来…思い思いの美園を描きました。

vol.
07

美園人

be a **GOOD** neighbor!

CONTENTS

SPECIAL — もっと知りたい 特集 —

- 04 こんなこともやっています! 「美園スポット」
- 06 編集部が行ってきました! 「美園の小学校」全てご紹介!
- 08 8月1日に地域ポイント「たまぼん」がスタートしました!
- 10 「みそのウイングシティ」に誕生した
「ウエリス浦和美園」の魅力に『美園人』編集部が迫ります
- 11 新しく「美園人」となったみなさんに、住みごちを伺いました!

be a GOOD neighbor! — 「美園人」の横顔 —

- 12 美園とわたし
～この人に聞きたい、美園との出会い～
- 13 「美園人」×「みそのいち」
生産者のみなさんに聞く「季節のとおきを教えてください!」
第3回「KMフルーツJAPAN」さんの巻

QUESTION — 「美園人」に聞きました —

- 14 だから美園が好き。その理由を教えてください。

INFORMATION — お知らせ —

- 15 番外編! 『美園人』地域サポーター通信



昔から世代を超えて暮らすひと、移り住んできたひと、みな「美園人」。
受け継がれてきた歴史も、未来へと続く取り組みも、全てが美園のまち。

知っているようで知らないまちの姿、もっと知りたいまちの姿。
ひとつひとつご紹介します。

be a GOOD neighbor!

こんなこともやっています! 「美園スポット」



美園ではさまざまな場所の利活用に積極的に取り組んでいると聞きますが、どのように使われているのでしょうか?

\\ その1: 埼スタ試合日に使われる「臨時ホーム」で「夏祭り」! //



いつもと異なる賑わいにあふれる臨時ホーム。

2017年度までに2回開催された「浦和美園駅ホームBAR」が来場者の声を受け、今年はさらにパワーアップ! 家族みんなで楽しめる「駅祭と(エキサイト)浦和美園」として、多くの家族連れで賑わいました。

普段の臨時ホームは…?



こちらが「浦和美園」駅3番線ホームの普段の姿。「埼玉スタジアム2002」での試合開催日など、駅利用者が特に集中する際に使用されています。
(提供: 埼玉高速鉄道株式会社)

夏祭り会場!



普段は閉まっている臨時ホームの改札口がオープン!



秩父市による秩父の材木を使っでの木工作ワークショップは、車両の中で開催。



連携協定を締結した会津若松市による、赤べこの絵付け体験。



SRカルチャースクールの講座のブースでは、キッズ向けの英語による読み聞かせも。



会場がより華やかになるステージ企画。



人気の和菓子店も出店、できたての味に舌つづみ。

DATA

「家族でGO! 駅祭と(エキサイト)浦和美園」

日時：2018年8月25日(土) 11:00～16:00

会場：埼玉高速鉄道「浦和美園」駅3番線臨時ホーム・駅前東口ひろば

主催：美園タウンマネジメント協会

協力：埼玉高速鉄道株式会社、美園地区自治会連合会、一般社団法人美園タウンマネジメント、会津若松市、秩父市、さいたま市

\\ その2：整備が進む「綾瀬川」にて「水辺で乾杯」! //

水辺の新しい活用の可能性を創造する「ミズベリング」プロジェクト。その一環として水辺に集い乾杯をする「水辺で乾杯」が行われています。美園では今年3月に「美園スタジアムタウン：河川空間活用計画」を策定・公表し、「綾瀬川遊歩道」の先行整備がスタート! 新たな水辺のまちづくりを記念し、飲み物を持ち寄って乾杯しました。



7月7日午後7時7分! いよいよ乾杯!
みんなで記念写真を撮りました。



整備前の姿は…?



遊歩道の先行整備がはじまる前の「綾瀬川河川敷」。「綾瀬川」の周辺には増水時に備えて「調整池」が複数設けられており、それらの利活用も検討が進んでいます。
(提供：さいたま市)

DATA

「水辺で乾杯in美園2018」

日時：2018年7月7日(土) 18:45～

場所：綾瀬川(美園中橋の左岸側(美園東2丁目側)の橋詰付近)

主催：みその都市デザイン協議会

協賛：ヤオコー浦和美園店

協力：株式会社ビーアンドディコンサルティング

埼玉県水辺再生課

編集部が行ってきました！「美園の小学校」全てご紹介！

知りたい /



140年以上の伝統を誇る歴史ある学校、豊かな自然の恵みにふれ合う学校、地域とのつながりを大事にする学校…と、いずれも特色豊かな美園の公立小学校について教えてください。

美園地区には全部で4つの小学校があります。どの学校もそれぞれの特色を生かした素敵な学校ばかり。今回は『美園人』編集部が各学校を訪問し、その魅力を伺ってきました！



さいたま市立 大門小学校



1873（明治6）年開校の伝統ある学校

- ▶ 地域の方が1本1本植えた「野鳥の森」が子どもたちの学び場に
- ▶ 2018年初実施！「日光御成道」をチームで歩く「チャレンジ強歩」
- ▶ PTA主催の「ふれあい大門まつり」は子どもも大人も楽しめる一大イベント



茂呂 宏幸
校長先生

本校は親子3代で通われる家庭もあるので、まさに地域全体が児童の成長を見守ってくれています。また、2018年には児童がこの地域を知るきっかけとして、学校から「岩槻城址公園」までの街道を歩く「チャレンジ強歩」を実施します。今後は学校の伝統を守りつつも、さらに新しいことに挑戦していけたらと思っています。

校章について：1920（大正9）年に職員により桜の形を模して作られ、中心には校名があらわれています。
開校：1873年 児童数：511人（18学級） 所在地：さいたま市緑区大門1189 TEL：048-878-0024



さいたま市立 野田小学校



豊かな自然に恵まれ、地域全体が子どもの学び場に

- ▶ 小規模学校の強みを生かし、全校児童で取り組む農業体験
- ▶ 「さぎ山記念公園」や「緑のヘルシーロード」など豊かな自然がすぐそばに
- ▶ 運動会は地区ごとのテントでお弁当！地域とつながる大切な時間



小林 達哉
校長先生

本校は小規模学校であるからこそ、学校も地域もまるで家族のような温かさがあります。そんな地域の中で過ごす子どもたちには、ぜひこの地域のことをこの先もずっと好きでいてほしいですね。また、本校の落成式の際に復活した「南部領辻の獅子舞」などの伝統文化にもふれながら、豊かな心を育んでもらえたらと思っています。

校章について：野田地区にはかつて多くの「さぎ」が生息し、「さぎ山」の愛称で親しまれていたことに由来しています。
開校：1873年 児童数：168人（7学級） 所在地：さいたま市緑区上野田16 TEL：048-878-0003



さいたま市立 新和小学校

クワイの花が
咲きました!



美園のまちを一望できる高台にある自然豊かな学校

- ▶ 「いじめ撲滅強化月間」には校長先生による道徳の授業を全クラスで実施
- ▶ 岩槻産食材を使った給食を生産者の方と食べる、「AI (All Iwatsuki) 給食」を実施!
- ▶ 岩槻地区特産のクワイを学校で育てる環境学習



河野 秀樹
校長先生

実は本校にはチャイムがなく、児童は授業と休み時間を自分自身で管理しています。また、プールサイドの人工芝やクワイの植え付け学習は地域の方にもご協力いただきました。まさに古くからの信頼関係があったからこそですね。今後も引き続き、PTAと協力してこの地域の魅力をより多くの人に発信していきたいと思っています。

校章について：成り立ちは定かではありませんが、長年大切に受け継がれています。ほかにシンボルツリーの「もちの木」が児童を見守ってくれています。

開校：1873年 児童数：228人（10学級） 所在地：さいたま市岩槻区尾ヶ崎1252 TEL：048-798-0003



さいたま市立 美園小学校



2012（平成24）年4月に開校した新設校

- ▶ 児童からアイデアを募集して作った校歌・校章
- ▶ 「綾瀬川」の生き物とふれ合う環境学習も充実
- ▶ 太陽光パネル（※）や雨水を利用したトイレ洗浄など環境にも配慮

※さいたま市では、避難所に指定されている全市立学校に太陽光発電設備および蓄電池が導入されています。



佐々木 清隆
校長先生

本校では校内に防犯カメラが8台設置されているのも特長ですね。また、児童のアイデアで作られた校歌や校章、地域の方々の協力で整えられていく学校環境などは全て地域の「絆」があるからこそ。児童にも何よりも「絆」を大切に伝えたいです。今後もさらに発展していくこのまちで、学校をよりよくしていきたいと思っています。

校章について：美園の「M」、区鳥の「しらさぎ」、区の花の「ハナミズキ」がイメージされています。

開校：2012年 児童数：1,449人（44学級）

所在地：さいたま市緑区美園5-33 TEL：048-812-6611

校章の「美」は、ひらがなで「みその」とも読めます

さいたま市立美園北小学校

2019（平成31）年4月開校！

「浦和美園」駅周辺の土地区画整理事業により宅地化が進み、児童数が増加したため、新しい小学校が開校されることになりました。「美園北小学校」の通学区域は美園1丁目から4丁目です。



DATA

所在地：さいたま市緑区美園2-12-11

8月1日に地域ポイント「たまぽん」がスタートしました!

知りたい /



今年の8月1日に岩槻地区・美園地区でスタートした「たまぽん」。ポイントをためるのがもっと楽しくなる「ならでは特典」もあると聞きましたが、ほかのポイントカードとどう違うのでしょうか?

ゆくゆくはさいたま市全域に拡大する予定の地域ポイント「たまぽん」。お買い物以外でも、ポイントがたまる・使える仕組みとなっているのが特徴です。このコーナーでは、PRキャラクター「うさぎのピッピー」が「たまぽん」の利用方法についてご紹介します!

はじめまして! ピッピーです

ポイントの P!
このポイントの名称とPRキャラクターは2018年4月15日から6月15日にかけて行われた、一般公募によって決定しました。

がま口財布
ポイントがたまりますように!

にんじんも P!

ふっくらしたほっぺ
ポイントがたくさんたまっているようすを表しています。

うさぎのピッピー

たまぽん公式サイト
(購入できる場所の後業、利用登録はこちらから)
<http://tamapon.jp/>

たまぽん公式 Twitter
https://twitter.com/tamapon_tweet



STEP1 : つくる

ご当地WAON「さいたま市みんなで健康WAON」カードがたまぽんポイントカードです。イオンのお店、一部加盟店で1枚300円で販売しています。購入後は盗難・紛失に備えてホームページ上から利用登録を行ってください。

「たまぽん」をつくってみよう!



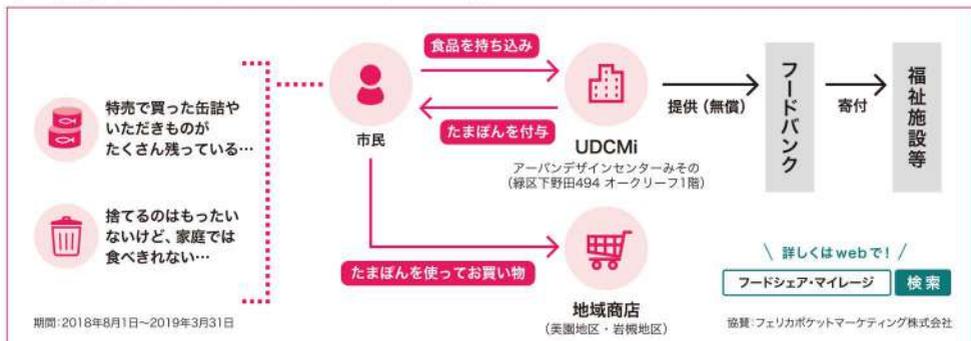


STEP2：ためる

加盟店でのお買い物100円につき1たまぼんポイント、同時に200円ごとに1WAONポイント(※)も付与されます。お買い物以外にも「食品ロス」の削減に向けて、ご家庭で余った食品を持ち込むとポイントが付与される「フードシェア・マイルージ実証事業」もスタート。イベントやボランティアへの参加によるポイント付与の検討も進んでいます。

※WAONでの支払いの場合(WAONの使えるお店のみ)

余った食品がポイントになる！フードシェア・マイルージの流れ



フードシェア・マイルージのお問い合わせ：さいたま市環境局資源循環推進部資源循環政策課 TEL:048-829-1338 FAX:048-829-1991



STEP3：つかう

美園でのお買い物以外にも、たままったポイントを使うことができます。ポイント交換でしか手に入らない「ならでは特典」も検討されているほか、岩槻地区でのお買い物にも利用可能です。

「たまぼん」が使えるまち、岩槻からメッセージ！

現在、地域ポイント「たまぼん」は岩槻地区でも先行導入中です。今回これまでのポイントカード「わくわくカード」から「たまぼん」に移行した「ギンザViVi岩槻店」で、「株式会社とらや」の田中隆介社長にお話を伺いました。



「株式会社とらや」の田中社長



「たまぼん」は100円で1ポイント。
店頭でカードの購入も可能。

岩槻ではおなじみの「わくわくカード」でしたが、商店街の活性化やポイントの使いみちの検討が、今後の課題となっていました。現状でも一定のご支持はいただいていたのですが、同じ仕組みのままで、これからもまちの活性化が進み、成長し続けていけるだろうか…？と。

これらの解決への可能性を感じて「たまぼん」への移行を決めました。

岩槻でも美園でもまずはポイント発行元として加盟店の増加がカギとなるでしょう。「浦和美園」駅周辺もまちの成熟とともに商店街が形成されていくかもしれません。このお店に行きたいから岩槻へ行く、美園へ行く。そして、まちを散歩しながら地域活動で「たまぼん」を使う…そんな未来が実現できるとよいですね。

「みそのウイングシティ」に誕生した 「ウエリス浦和美園」の魅力に『美園人』編集部が迫ります

＼知りたい！



「綾瀬川」の水辺に寄り添うように竣工した新しいマンションについて教えてください！
新しく「美園人」となったみなさんのお話も聞いてみたいです。

新しい「美園人」が生まれるビッグプロジェクト。



今から17年前の2001年。美園で土地区画整理事業が認可され、駅とスタジアムを中心とした、大規模な都市開発がスタートしました。「みそのウイングシティ」内の南に公園、東に「綾瀬川」が流れる好立地で、約700世帯の「美園人」を迎えるビッグプロジェクト「ウエリス浦和美園」がはじまっています。

美園のもつ「豊かな自然の恵み」も享受する。

「ウエリス浦和美園」の魅力のひとつ、それは「綾瀬川」に寄り添う立地ということ。かつては、舟運が盛んだった「綾瀬川」ですが、交通機関の発展により往時の賑わいは失われつつありました。しかし、今年の3月から地域協働での「かわまちづくり」がスタート。「綾瀬川遊歩道」の先行整備も始まり、7月7日には「水辺で乾杯」(p.05参照)も開催されました。「綾瀬川」の河川敷でジョギングしたり、季節の移りいを感じながらお子さんと過ごしたり…、と今後さらに新しい水辺の賑わいが生まれることでしょう。

埼玉県「子育て応援マンション(※)」認定！

POINT1：子育てをサポートするキッズルーム

プレイスペースには、遊具や絵本も。雨の日や夏の暑い日も小さなお子さんと一緒に過ごすことができます。

POINT2：子育て交流&シーズンイベント

ご家族同士のコミュニケーションが深まる交流会などイベントも満載。こども英語教室も開校しました。

POINT3：防犯対策&子どもに配慮した快適な空間

室内の段差を抑え、設備は子どもに使いやすい仕様となっています。防犯対策も施され、子どもの安全を守ります。



※「埼玉県子育て応援マンション認定制度」は、マンションの住戸内、共用部などの仕様や子育て支援サービスの提供など、ハード・ソフト両面で子育てに配慮したマンションを埼玉県が認定する制度です。

新しく「美園人」となったみなさんに、住みごちを伺いました！



「娘の誕生をきっかけに、子育てしやすい美園に。」

(T様・東京都北区王子から住み替え・ご夫婦とお子様)

Q: 美園に住まわれたきっかけ・印象を教えてください。

娘が誕生したことが契機でした。美園は、ベビーカーの人も多く、散歩しやすく、子育てをするイメージが湧きました。ふたりとも田舎育ちなので、ごちゃごちゃしているよりちょっと見晴らしがよいところの方が住みやすくて。都心に人が集中している中で、さいたま市にも（スマートシティ）構想があり、注目されていることもありがたいです。

Q: 「ウエリス浦和美園」に住んでみていかがですか？

目の前が公園なので、陽が入るところが一番気に入っています。コンシェルジュさんがいて「おかえりなさい」と声をかけてくれることも嬉しいです。知り合いもいない中でこちらに来たので、これからつながりができたらよいと思います。娘がもう少し大きくなったら、絵本を持って「キッズルーム」を使ってみたいですね。



キッズルーム

「40年以上住んでいた一戸建てを買い替えて。」

(O様・さいたま市見沼区から住み替え・ご夫婦)

Q: 美園に住まわれたきっかけ・印象を教えてください。

病気が契機となり、一戸建ての広い家が普段の暮らしでは負担になってきたので「マンションに住み替える」という選択をしました。美園は、まちづくりが進んでいるので、これからの生活を考えて高齢者も快適に暮らせようだ…というのが、このまちを選んだ理由です。都心へ30分前後でアクセスでき、生活の利便性も高く、豊かな自然、落ち着いた街並み。慣れてきたら、思った以上に住みやすかったです。



コミュニティルーム

Q: 「ウエリス浦和美園」に住んでみていかがですか？

バリアフリー、セキュリティ、陽当たりの良さ…に加え「コミュニティルーム(※)」がとても良かったです。実は先日、兄弟みんなで集まったのですが、この歳になると、そうしょっちゅう会わないからしばらくぶりに会うでしょう？ だからみんな子ども時代に戻って(笑)。「コミュニティルーム」なら気がねなく盛り上がることができますよ。

※キッチンを備え、集会やサークル活動などに利用できる多目的のルームです。

2018年11月下旬入居開始予定(ノーステラス)！購入前、実際の眺望や陽当たりなどを現地でお確かめいただけます。

お問い合わせは「ウエリス浦和美園」マンションギャラリー

0120-380-355

営業時間/10:00~18:00
定休日/毎週水・木曜日(祝日除く)

Wellith

ウエリス浦和美園

ウエリス浦和美園

検索

美園とわたし

～この人に聞きたい、美園との出会い～

美園に想いを寄せるみなさんに、まちとの関わりやこれからのことについてお話を伺いました。

第3回は美園の「保育ボランティア ひまわり」さんの登場です。



「保育ボランティア ひまわり」は幅広い年齢層のメンバーで活動しています。美園公民館での「ひまわりの部屋」をはじめとして読み聞かせやお話し会を開催しており、参加したみなさんが「育児書にはない経験」を分かち合える場となっています。

参加者もひまわりのメンバーも、実は新旧住民が混ざり合っているの、周りとのご縁を深めるきっかけともなっているのが嬉しいですね。家庭や仕事と両立し「やれる時に、やれる人が、やれる事を」が大原則。「美園の子どもを美園でみていく」という想いで地域の子育てをサポートしています。

PROFILE

「保育ボランティア ひまわり」

公民館で開催された「ボランティア養成講座」に参加したメンバーを中心に2002年に発足し、現在約10名で活動中。未就園児の親子を対象としたお話し会や、公民館などで開催される託児付き講座の保育を担当している。



大型絵本の数々。大迫力の読み聞かせは子どもたちに大人気。

親子で読み聞かせやわらべうたを楽しむ「ひまわりの部屋」は、毎月第2木曜日に美園公民館で開催している。核家族も増えている美園で、子ども同士、親同士がつながるきっかけにも。



美^茶人 × 「みそのいち」

生産者のみなさんに聞く「季節のとおきを教えてください！」

第3回

「KMフルーツJAPAN」さんの巻

爽りの秋がやってきました。今回は「KMフルーツJAPAN」さんにおじゃまして、旬を迎えるぶどう「シャインマスカット」や梨の栽培についてお話を伺いました。

私が育てているのは、皮ごと食べられる「シャインマスカット」をメインとした数々のぶどうと、梨、すもも、あんず、キウイフルーツなどです。「シャイン」は栽培が難しく、無農薬栽培を実現するのは試行錯誤の連続でしたが、現在では供給量も落ち着いてきましたので、次のヒットを目指して新品種を開発中です。ただ、玉ばりの良さと大きさ、抜群の甘さを誇る「シャイン」の上に行く品種には、まだ出会えていません。けれど息子と一緒に毎年開発を続けている「さくたろうぶどう」がもしかしたら「シャイン」を超えるかもしれないですね。なんといっても美味しすぎてハクビシンに30房中10房も食べられてしまったので(笑)。



守屋さんと息子のさくたろうくん。「シャインマスカット」の糖度を測定中。(上写真)
守屋さんの直売所。ぶどうだけでなく「大玉幸水」ほか数々の梨も揃う。(下写真)

〓 教えてくれた人 〓



守屋 一隆(もりや かずたか)

バンド活動を経た後、埼玉県農林総合研究センター(現・農業技術研究センター)で研修を受け、ぶどう栽培に携わるように。就農当時は「シャインマスカット」の確固たる栽培方法は確立されていなかったが、現在では無農薬栽培を実現。梨の減農薬栽培などにも取り組んでいる。

「シャインマスカット」あれこれ

その1

「シャインマスカット」は、皮ごと食べられる、大粒のぶどうです。皮ごと口に入れても良いように農薬を使わずに育てています。種もないため小さいお子さんでも安心して召し上がっていただけます。

その2

無農薬栽培にこだわっているのです、やはり害虫との闘いとなります。そのため害虫を食べてもらうためにカエルの方も借りています。だから畑にところどころ水を張っていますが、今度は蚊との闘いになっています(笑)。

だから美園が好き。その理由を教えてください。

『美国人』第7号にご登場いただいた方々に、美園についての質問にお答えいただきました。みなさんの「美園愛」あふれる回答に注目です。

Q: 美園についての想い、好きなところを教えてください。



田中 隆介さん (p.09 参照)

A: さいたま市内で「たまぼん」を先行導入した岩槻と美園は、バスに乗ったら30分ほど。それぞれの地域が商店を中心に盛り上がり行き来が活発になったら嬉しいです。「たまぼん」があれば買い物だけではなく、美園のまち歩きも楽しくなると期待しています。

A: とにかく子育てがしやすいまちです。ちょっと行けば自然がいっぱい。カプトムシも獲れるし、子どもはいろんな体験ができる。適度な田舎感と都会感のある、ちょうどよい場所です。若い核家族の方も増えましたが、子育てを通じて、新旧住民が混ざり合いつながり合うことができます。



「保育ボランティア ひまわり」のみなさん (p.12 参照)



もりや さくたるくん (p.13 参照)

A: やっぱり「みそのいち」がすぎです。だっておとうさんがぶどうをうってるから!!

A: 空が広くて、ゆったりしたところがいいです。あー、我が家に帰ってきたんだなーというほっとする感じ、かな。もちろん、都会も好きですよ、刺激があって。でも、ゆっくり自分の家で過ごすには、こういう、時間も空間も余裕のあるところがいいですね。



地域サポーター Satomiさんファミリー



地域サポーター 青木かおりさん

A: 自然豊かな美園から、大都会東京の中心に電車一本でアクセスできる (!) ところです。都内で働いていた時は乗り換え1回だけ。乗り換えまでの45分座って行けたので、本当に楽でした。

美国人

みそのびと

編集後記

今回の『美国人』は「もっと知りたい美園」というテーマで制作いたしました。地域サポーターさん、読者のみなさんのご意見を取り入れながら、本当に知りたい情報を取材を通じてお届けできればと考えています。『美国人』を手取ることで、この地にずっと暮らしている方には「これからの美園」を感じていただき、新しく移り住んだ方には「美園の有する歴史、豊かな自然の恵み」の気づきをもたらしていければ、こんなに嬉しいことはありません。今日もまた、一歩ずつ。(編集部)

8月25日(土)の昼下がり。編集部が「駅祭と(エキサイト)浦和美園」取材中に『美園人』地域サポーターのSatomiさんファミリーと遭遇！駅の臨時ホームで、番外編の編集会議となりました。

編集部(以下「編」): Satomiさん! こんにちは。リモート会議中心だから実際にお会いするのは2回目ですね。せっかくなのでこの3か月の変化を教えてください!

Satomiさん(以下「S」): まず写真を撮るようになりました。駅に貼り出されたイベント情報などもすかさずチェックして、今日(駅祭と浦和美園)みたいなイベントにも足を運ぶように。外に出るきっかけになっている気がします。



編: 嬉しいです。そもそも地域サポーターに参加しようと思ったのはどうしてですか?

S: フルタイムで復職しようと思ったのですが保育園に入れなくて。子どもと家にいる時間が続く中で「りそな銀行」さんの親子撮影会に参加したんです。そこでUDCMiを知って、初めてこのまちが発展中だということに気づき(笑)。そこから興味を持って、応募して…。活動する内にやりたいことも増えてきました。

編: ありがとうございます! 次は何を一緒にやりましょうか?

S: webも使って防災マップづくりとか? 行政からいろいろと情報があるけれど、実際のところ災害時の避難場所や子連れで移動できるのかというところを住民同士で教え合ったり、古くから住んでいる方々のお知恵を借りたり。移り住んできた身としては、きっかけを通じて仲良くなれたらいいなと思って。

編: ありがとうございます。検討します! ほかにありますか?

S: 将来的には、美園に「働きたいのに働けない子育て世代」が力を発揮できる場所があったらよいなと思います。コワーキングスペースとかビジネスステーションというイメージでしょうか。子どもの急な発熱などにも対応できて、柔軟に働けるような仕組みができると素敵ですね。

Satomiさん、ありがとうございました。これからも『美園人』では、まちの声に耳を傾けていきます。(編集部)

『美園人』読者アンケート へのご協力をお願いします。



『美園人』をお読みいただきまして、ありがとうございます。

みなさんが「知りたい!」と思う情報を、取材を通じお届けできるよう、感想をお寄せいただけますと幸いです。

これからの『美園人』の紙面をよりよくするために、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

詳しくは、上記のQRコードからアクセスしてください。

※vol.06でお知らせしていた「たまぼん」ポイントの付与は、現在準備中のため、アンケートのみの実施となりました。お詫び申し上げます。



× みその出版

『美園人』はwebでもご覧いただけます。 <http://misonobito.jp/>

ここから、はじまる。「美しき園」、「美しき人」。『美園人』web版では、PCやスマホ・タブレットなどで、冊子でご紹介しきれなかった取材のこぼれ話やオフショット、美園でこれから行われるイベント情報などをご覧いただくことができます。随時更新中です。最新の情報はこちらから。

